

| OBインタビュー

柿原工業株式会社



会社名：柿原工業株式会社
所在地：広島県福山市箕沖町99-13
創業：昭和37年（1962年）4月
従業員：240名（2014年4月現在）

事業概要
樹脂製品の精密金型設計・製作から射出成形、表面処理（めっき=メタライジング）、塗装、組立という源流工程から完成品までを社内一貫生産
ウェブサイトURL：http://www.kakihara.co.jp/

Q.日本へ留学した時のお話しについて教えてください。

日本に留学したきっかけは、大連は日系企業も多く日本人に親しみがある地域なので、高校を卒業して日本語を勉強すると就職しやすいと思い、母国の大学で日本語を勉強しました。

大学で日本語を勉強したのでできれば日本に留学したいという思いがあり、大学との交流プログラムがあった広島大学に進学しました。来日したのは2009年10月で、1年間の研究生を経て2010年10月に入学しました。

Q.日本での就職活動について教えてください。

2011年の4月頃から日本の就職活動がどのように行われるか合同企業説明会に参加したり、筆記試験の練習などを行いました。

本格的に就職活動を始めたのは、2011年6月で広島県留學生生活支援センターが開催していた就職活動入門セミナーに参加してからです。

その後7月に広島県留學生生活支援センター主催の合同企業説明会に参加して、そこで現在勤務している柿原工業と出会い、採用試験を経て内定を獲得することができました。柿原工業に決めた理由は、会社の説明をわかりやすく1時間以上かけて丁寧に説明していただいたところと、もともと自動車メーカーに興味があ



柿原工業株式会社
海外業務室 孫 達伍さん（中国 遼寧省）
広島大学大学院 社会科学研究科
マネジメント専攻 2012年9月卒業

あったことと、大学でも中小企業の魅力を勉強しており、オンリーワン企業であると感じたことからです。

広島県を就職先として希望していた理由は、3年間住んでみて大連と広島が都市の大きさや雰囲気が似ているのですごく住みやすいと感じたからです。

就職活動は特に苦労はしませんでした。Webテスト練習や自己分析等は早期から行っていました。

Q.現在の仕事の内容を教えてください。

入社時期が秋卒業のため同期より半年遅くなったのですが、秋に一人で入社したのですが、同期と同じようになり研修を行っていただきました。

また、会社が何よりアットホームで飲み会やプライベートでも交流する機会が多く、

困ったときにすぐ相談できる先輩や上司がいるのでとても楽しく仕事できています。

配属された海外業務室は、新しく設置された部署なので海外とのやり取りが関係する新規の業務を構築することが多いです。

自分は色々なことに挑戦していきたいと思っているので、すごく今の部署に合っていると感じています。

例えば、原産地証明の制度、タイの現地法人スタッフの研修のスケジュール管理、タイの技能実習生の制度の受け入れ等、常に新しい仕事に自分がパイオニアとして切り開いていけることにやりがいを感じています。

Q.キャリアビジョンについて教えてください。

短期的には、今行っている業務は輸出業務が中心となっているので、英語が非常に大事

なコミュニケーションツールとなります。英語能力についてはもっとスキルアップしていきたいと考えています。

また、現在在籍している部署は柿原工業の中では新しい部署なので、これから輸出の業務が増えてきますし、色々なビジネス形態ができてくるのでその準備をしっかり行うことと、海外業務室で一番長く在籍しているのでこれから入ってくる後輩の教育ができるよう準備していきたいと考えています。

長期的には、将来的にはタイで働いてみたい。また、本社においても他の部署のスキルも積んでいきたいと思っています。将来、会社にとってなくてはならない人材になれるように頑張りたいです。